

天理教

三日講習会

受講の手引き

Tenrikyo

I

3 Day

II

Course

III

三日講習会の受講をお勧めくださる皆様へ

『天理教三日講習会 受講の手引き（立教184年1月26日改訂）』は、三日講習会へ受講者を送り出してくださる皆様に、当講習会の趣旨をご理解いただき、受講の手続きを円滑に進め、受講者に滞りなく履修・修了していただく上から作成しています。

また、「天理教三日講習会ホームページ」を開設しています。ホームページにて講習会の開催日程や申込状況などが確認できる他、本書や受講願書（願書）などをダウンロードすることもできます。

各種広報物を活用していただき、受講者が講習会に専念できるようにご配慮をお願いいたします。

天理教教会本部
教養室講習会掛

目次

○三日講習会とは / 対象	1	○教会長・配偶者体験コース 詰所の方へ	12
○定員 / 受講御供 / 期間 / 宿舎	2	○所属教会長 (受講者を世話取りされる方) へ	13
○食事・入浴 / 集合 / 解散	3	○願書記入時の注意事項 対象年齢表	14 . 15
○内容	4	○三日講習会願書	16
○受講者が持参するもの / 受講心得	5	○教会長・配偶者体験コース願書	17
○願書受付	6	○Ⅲ修了試験（再試験）申込書	18
○キャンセル待ち	7	○プログラム例	19
○受講月の決定連絡 / 事前通知・受講票 辞退および願書の有効期限	8	○よくある質問	20
○託児 / 感染症の対応	9	○周辺図	21
○身上者などについて	10		
○付添い / 修了試験	11		

三日講習会とは

三日講習会は仕事や家庭の都合などで、長期に家を空けられない方のための短期間の講習会です。Ⅰ（いち）、Ⅱ（に）、Ⅲ（さん）と、それぞれ2泊3日の合宿を順を追って受講し、おちばで基本教理とおつとめの修得を目指します。これまでの人生や信仰を見つめなおし、教えをより身近に感じ、積極的に道を求めるきっかけとなるようにプログラムを組んでいます。

なお、おちばでの伏せ込みや、身上のご守護を望まれる方には、修養科をお勧めしています。

対 象

仕事や家庭などの都合により、長期間仕事を休めない、あるいは育児や介護などのために家庭を離れられない人で、求道意欲があり、団体での合宿生活が可能な人。ならびに、以下の①②の条件を満たしている人が対象です。

※修養科修了者、教人も受講できます。 ※教会長は受講できません。

①年齢条件

25 歳から 65 歳までの方 必ず対象年齢をご確認ください。

※Ⅰ、Ⅱ、Ⅲすべてにおいて年齢条件は変わりません。

※新型コロナウイルスの影響により、立教 183 年の開催が複数回中止となったため、立教 184 年に限り年齢条件を 66 才上限とします。

※立教 182 年より 1 月～同年 12 月までの「年区切り」になりました。
それに伴い、これまでの「年度区切り」条件内に 65 歳から 66 歳になる人は、立教 185 年まで一部対象となります。（15 ページ参照）

②受講条件

Ⅰ … 座りづとめがひとりのできる

Ⅱ … 「三日講習会Ⅰ」を履修した人で、よろづよ八首のおてふりができる

Ⅲ … 「三日講習会Ⅱ」を履修した人で、前半下りのおてふりができる

※三日講習会Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、おさづけの理を拝戴していなくても受講できます。ただしⅢの最終日に行われる修了試験は、おさづけの理を拝戴していることが受験資格となります。

※一度、三日講習会を履修・修了された方が、再度受講することはできません。

※外国籍の方も受講できますが、日本語でコミュニケーションが円滑にでき、かつ日本語（漢字）の読み書きが十分にできる方に限ります。プログラムには、日本語（漢字）で文章を書く時間があります。

※身上者については 10 ページ「身上者などについて」を参照してください。

定 員

I、II、III …… 男性 50 名、女性 50 名、計 **100** 名

※新型コロナウイルスの感染予防を考慮し、三密状態を避けるため、
当面の間、定員数を減らして開催します。

受講御供

I、II、III …… 各 10,000 円（宿泊費、食費などを含む）

※受講者本人が受付時（開催初日）に納めます。

※託児を申し込んでいる場合は別途御供が必要です(9ページ参照)。

期 間

2 泊 3 日の合宿

※詰所、自宅などから通いで受講することはできません。

※遅刻や早退、プログラムの欠課があると履修資格を得られない場合があります。

宿 舎 （宿舎などの図面は 21 ページ参照）

第 7 母屋 …… 女性宿舎（1 部屋 2～3 名）

第 8 母屋 …… 研修室（おてふり練習、グループタイムほか）

第 9 母屋 …… 男性宿舎（1 部屋 2～3 名）

※宿舎は三日講習会開催期間のみ使用しています。事前、事後の荷物のお預かりや、
施設の見学はできません。

※宅配などで荷物を送られても、宿舎（当掛）には届きません。教会本部の担当部署に
一括配送されるため、当日までに届かないことがあります。受講に際して荷物を送ら
れる場合は、直属・所属教会とご相談の上、詰所などに送るようお願いします。

※新型コロナウイルスの感染予防を考慮し、三密状態を避けるため、当面の間、
個室での宿泊とします。

食事・入浴

食事は基本的に本部食堂（第一食堂）にて、炊事本部食を喫食します。

- ※個別のメニューを用意したり、外食することはできません。
- アレルギー等は、事前に当掛へご相談ください。

入浴は本部浴場（別棟：8母屋東側）を利用します。

- ※シャワールームや備え付けの石けん類はありません。
- 特殊な事情で公衆浴場が利用できない場合は、事前に当掛へご相談ください。

集 合

詰所で「受講票」を受け取った後、午前8時から8時50分までに第8母屋に集合します（受講票は8ページ、集合場所は21ページ参照）。

- ※託児を申し込んでいる場合は、午前8時から8時15分までに、まず第8母屋で受付を済ませてください。その後、天理託児所で入所式があります（9ページ参照）。

- ※車でお越しの場合は、北2駐車場をご利用ください。

解 散

I、IIは3日目の午後3時頃、IIIは3日目の午後3時30分～4時頃に、神殿でお礼づとめをした後、神殿で解散します。

- ※受講者の荷物を引き取りに来られる場合は、受講者と相談の上、3日目午前9時から午後1時までに、第8母屋へお越しください。

内 容（プログラム例は 19 ページ参照）

〈講義〉

- | | | |
|-----|-----|------------|
| I | 第一講 | かしもの・かりもの |
| | 第二講 | 親神様 |
| | 第三講 | 教祖 |
| | 第四講 | おつとめは素晴らしい |
| II | 第五講 | 元の理とおつとめ |
| | 第六講 | ひながたの道 |
| | 第七講 | 心一つが我がの理 |
| III | 第八講 | だめの教え |
| | 第九講 | たすけ一条の道 |
| | 第十講 | 教えに基づく生き方 |

各講義に対応した『参考資料』を受講者にお渡しします。

〈ふりかえり〉

講義後、講義の感想や疑問に思う点などを話し合います。受講者同士で話し合うことによって、より教理を心におさめることをねらいとしています。

〈グループタイム〉

これまでの人生とこれからの生き方について、また家族のあり方など様々なテーマに基づいて話し合います。受講者一人ひとりが、信仰をより身近なものとして、道を求めるきっかけとなることを目指します。

〈おてふり練習〉

- I … 「基本の手振り」と「座りづとめ」「よろづよ八首」
 - II … 「一下り目」から「六下り目」まで
 - III … 「七下り目」から「十二下り目」まで
- ※II、IIIでは、おつとめ用扇一対が必要です。

〈鳴物練習〉

- I … 打ち物（拍子木、ちゃんぽん、すりがね、太鼓）
 - II … 男性は小鼓、女性は琴
 - III … 男性は小鼓と笛、女性は三味線または胡弓を選択
- ※女性はIIを受講の際、琴爪をお持ちください（次ページ参照）。

受講者が持参するもの

I

- ・天理教教典（1984年・昭和59年3月26日60改訂版以降のもの）
- ・稿本天理教教祖伝
- ・受講票（詰所で受け取り、受付時に提出）

II

- ・天理教教典
- ・稿本天理教教祖伝
- ・稿本天理教教祖伝逸話篇
- ・おつとめ用扇一対
- ・受講票
- ・琴爪（女性のみ）

III

- ・天理教教典
 - ・稿本天理教教祖伝
 - ・おつとめ用扇一対
 - ・受講票
- ◎ 天理教教典、稿本天理教教祖伝、稿本天理教教祖伝逸話篇は、開催中に購入もできます。
- ◎ 琴爪は、貸与できます。

持ち物の詳細は「事前通知」で受講者本人へお知らせします（8ページ参照）。

受講心得

以下の点につきまして、受講者に周知徹底をお願いします。

1. 団体生活を乱す行為は慎んでください。
2. 所属教会のハッピを着用してください。青年会、婦人会、詰所などのハッピはご遠慮ください。また、ハッピは必ず帯、ベルト、ひもで結んでください。
※期間を通して半ズボンの着用はご遠慮ください。
※すべりにくい靴でお越してください。サンダルなどはご遠慮ください。
3. 飲酒は厳禁です。
4. 飲食物の持ち込みはご遠慮ください。コーヒーやお茶類は用意してあります。
5. 生活用品は必ず用意してお越してください。宿舎に購買所はありません。
6. 期間中の外出・外泊、および面会は原則としてできません。
※緊急の場合は、事務所にご相談ください。
7. 電話の取り次ぎはいたしません。伝言をお預かりします。
8. 遅刻や早退、その他何らかの理由で全課程を履修できない場合や、受講者としてふさわしくない行為が認められた場合、辞退していただくことがあります。

願書受付

< 受付 >

毎日午前9時から午後4時まで先着順で受付します。

※年末年始（12月28日～1月4日）および毎月26日と4月18日の祭典中は受付できません。

※三日講習会開催中は、受付完了までお時間がかかることがあります。

その場合、願書をお預かりし、後日、受付結果を所属教会長へ連絡します。

※電話などによる予約はできません。願書の提出をもって受理となります。

※願書に不備がある場合は受理できません。原則として、不備願書のお預かり、また加筆・訂正などもお受けできません。

※受講が決定した方を第三者と差し替えることはできません。

< 受付締切 >

開催初日4日前の午後4時まで。

< 送付分の受付について >

郵送などで、当掛宛に送付された願書も受付します。ただし記入漏れ、記載不十分などの不備があった場合、窓口での受付よりもお時間をいただくことになります。また、普通郵便やメール便などで送られた場合、遅延、紛失などが生じても当掛では責任を負いかねます。

願書など当掛宛の発送物は直接当掛に届きません。教会本部の担当部署に一括配送されますので、受付までに日数がかかることがあります。

※不備の確認に日を要する場合、受理日は到着日ではなく、受付完了日になります。

この間に申込状況が変わることがありますが、先約扱いにはなりません。

※FAXやEメールによる出願は受付できません。

< 来年受付について >

来年「三日講習会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」願書は、来年開催日程の発表（通常8月ごろ）より受付を開始します。
--

キャンセル待ち

第一希望の申込が定員に達している場合、第一希望をキャンセル待ちするか、第二希望に移るかをお尋ねします。

〈キャンセル待ちの流れ〉

1. キャンセルが出るまでお待ちいただきます。キャンセルが出て受講可能になった場合、当掛から所属教会長に連絡し、受講決定となります。
2. キャンセルが出ない場合、開催 10 日前に当掛から所属教会長に連絡し、受付締切の開催 4 日前まで引き続き待たれるか、第二希望に移るかをお尋ねします。
3. 4 日前までキャンセルが出ない場合、当掛から所属教会長に連絡し、第二希望に移っていただきます。

〈キャンセル待ちの注意点〉

- ・連絡は原則として所属教会長にいたします。当掛から受講者本人には連絡しません。
- ・キャンセル待ちができるのは一つの希望月のみです。第一希望が決定している状態で他の月をキャンセル待ちすることはできません。
- ・第二希望に移ったが第二希望もキャンセル待ちになる場合、先にキャンセル待ちをしている方が優先されます。
- ・郵送などの場合は、キャンセル待ち確定まで日数がかかることがあります。
- ・キャンセルが出ず、第二希望がすぐに決められないなどの理由で保留となった願書は当掛でお預かりいたします。有効期限内であればお預かりしている願書で再受付が可能です。詳細は次ページ「願書の有効期限」を参照してください。

受講月の決定連絡（キャンセル待ちを含む）

1. 受講月の決定連絡は願書を提出された方を通して、所属教会長にお伝えします。

※郵送での願書は電話にて所属教会長に決定をお知らせします。

※受講が決定した方には、受講の約1カ月前に「事前通知」を当掛から願書記載の住所に発送します（次項参照）。

事前通知・受講票

1. 受講が決定している方には、受講される講習会の約1カ月前に、集合・解散、持ち物などが記載された「事前通知」を受講者本人に郵送します。

※1カ月をきってから受講が決定した場合は、その時点での発送となります。また、郵送が間に合わない場合は詰所へ事前通知をお渡しします。

2. 受講が決定している方には、受講される講習会の3日前に「受講票」を詰所にお渡しします。当日までに受け取り、受付時にご提出ください。

※修了試験（再試験）のみ受験する場合、受講票と同様に「受験票」を詰所にお渡ししますので、受験日までに受け取り、当掛へお越しくください。

辞退および願書の有効期限

・受講決定後、やむなく受講できなくなり、辞退される場合は当掛へご連絡ください。電話連絡で辞退を受付いたします。

・願書は希望した開催年の12月末まで有効です。キャンセル待ちや辞退の後、保留となった願書は、その年の12月末まで当掛でお預かりいたします。有効期限内に次の希望月が決まった場合は、再度電話連絡をしていただければ、お預かりしている願書で再受付が可能です。12月を過ぎ、翌年になった場合は、新しい願書の作成・提出が必要です。

託児

託児には、事前申し込みが必要です。ご本人の受講願書の託児欄に必要事項をお書きください。受講が決定した方には、託児のご案内を「事前通知」とともに送付します(8ページ参照)。

日中は天理託児所で、夜は宿舎でお子さんをお預かりします。申し込まれていないお子さんを当日お連れいただいても、受け入れはできません。

1. 託児対象 … 生後 91 日目から小学校就学前まで (15 ページ参照)
※受講時の年齢です。出願時の年齢ではありません。
2. 託児御供 … 1 人 600 円 (1 日 200 円×3 日分) を託児所に納めます
※子どもの宿泊費は不要です。
3. 食 事 … 基本的に保護者と一緒に、大人と同じ食事を喫食します。
食事を申し込む場合、1 人 1,190 円の食費を受付時 (開催初日) に納めます。
配食の都合上、途中で食事をキャンセルされても返金はできません。
※乳幼児で、粉ミルクや離乳食を持参される場合、費用は不要です。
4. 集 合 … 午前 8 時から 8 時 15 分の間に第 8 母屋玄関に集合します。
5. 定 員 … 若干名
※託児は早期に満員となることがありますので、ご注意ください。

※お子さんが身上をお持ちの場合は願書の特記事項に記入の上、必要があれば事前に当掛までご相談ください。

※原則として、女性宿舎に母子で 1 つの宿泊室 (託児部屋) を用意します。女性宿舎には、男性 (託児の男の子を除く) は立ち入りできませんので、ご夫婦で受講される場合、荷物を男女に分けてお持ちください。

※申し込まれた託児をキャンセルされる場合は、必ず当掛までご連絡ください。天理託児所へは当掛からキャンセルの手続きをいたします。

感染症への対応

当講習会では、感染症の集団感染、拡大を防ぐ上から、受講される方に以下の点をお願いしています。

- ・受講前に熱や咳などの症状があり、感染症にかかっている疑いがある場合は、受講を遠慮していただきますようお願いいたします。
※ご家族や職場など、身近な方に感染者がおられる場合も受講をご一考ください。
- ・本人、または託児童が感染症を発症された、または疑いがある場合は、宿舎に滞在できません。
この場合、受講途中で「辞退」となり、履修資格が得られませんので、ご了承ください。
- ・天理託児所が感染症などの影響で閉鎖された場合、託児が必要な方は受講を辞退していただくか、託児を取りやめ、ご家族や詰所などでお子さんを預かっていただくこととなります。

身上者などについて

三日講習会は、初めて出会った人と語り、寝食を共にする中で交流を深めます。期間中は少人数の班で団体生活を送りますので、他者との協調性が必要になります。

プログラムは共同作業やレクリエーションを含んでいるほか、短時間の移動も多く、睡眠時間がやや短い（朝が早い）など、普段から健康に過ごしている方でも体力的に負担がかかるスケジュールとなっています。

特に身上の症状によっては、悪化する場合がありますので、受講に際しては専門医などの指示に従ってください。出願にあたっては、以下の注意事項をよくお読み、ご不明な点があれば事前に当掛までご相談ください。

〈願書記入項目：特記事項〉

願書の「特記事項」欄には、本人または託児童の身体的・精神的な病気や怪我。その他、服薬や妊娠など、合宿に当たり心配な点について出来るだけ詳しくお書きください。

記入例

- ①高血圧のため、薬を服用しています。
- ②足の骨折のため松葉杖で歩けますが、正座ができません。
- ③現在妊娠3カ月です。つわりのひどい時があります。

〈注意事項〉

- ・体調不良などで一定時間プログラムから席を外されると「欠課」となり、履修資格を得られない場合があります。
※期間中の通院はできません。遅刻、早退も同様です。
- ・宿泊室は同性の班員（2～3名）と相部屋になります（新型コロナウイルスの感染予防を考慮し、三密状態を避けるため、当面の間、個室での宿泊とします）。
- ・別の場所から通いで受講することはできません。
- ・宿舎（3階建て）にはエレベーターはありません。
- ・入浴施設は本部浴場（別棟：8母屋東側）になります。
※浴場には車椅子用入浴設備やシャワールームなどはありません。
- ・食事は基本的に炊事本部食です。別メニューの用意、外食などはできません。
- ・常用している薬は必ず持参してください。また願書の特記事項欄に記入してください。
- ・車椅子が必要な場合、当掛でも用意できますが、必ず事前にご相談ください。
- ・手話通訳など特別な介添えが必要な方は、出願前（希望月決定前）に当掛までご相談ください。
- ・受講時、妊娠9カ月以降の方の受講はご遠慮ください。

付 添 い

受講者が付添いを必要とする場合「付添い者」として付添うことができます。ただし、当講習会における「付添い」とは、日常的に介護が必要な方の「介添え」ではなく、受講者が円滑に受講できるための一時的なサポートをいい、付添いができるのは、原則として受講者本人が集団での合宿生活ができる場合に限りです。詳しくは当掛までご相談ください。

修了試験

三日講習会Ⅲを履修した方を対象に修了試験を行います。

＜受験資格＞

おさづけの理を拝戴し、三日講習会Ⅲを履修した方

※別席運び中（満席を含む）の方は受験できません。

＜内容＞

1. 実技試験 … おてふり
2. 筆記試験 … 基本教理

＜合否の通知・修了証＞

1. 試験の合否は、試験日より約3週間後、原則として所属教会長に通知します。
2. 合格者には「修了証」を発行し、詰所にお渡しします。
※いかなる場合も「修了証」の再発行はいたしません。

＜修了試験のみ（再試験含む）の申込について＞

修了試験は通常Ⅲの開催に合わせて実施されます。修了試験に不合格となった、または試験を受けられなかった等の理由で再試験を希望される方は、「修了試験申込書」の提出が必要です。なお、合格者の再受験はできません。詳細と申込書は18ページを参照してください。

＜教人資格講習会の受講について＞

修了試験に合格した方は、2カ月以上空けて「教人資格講習会」を受講することができます。

※「2カ月以上」とは「修了日から数えて翌々月の同日以降」を意味します。

〈例〉三日講習会Ⅲ 5月15日修了 → 7月15日以降の「教人資格講習会」を受講できます。

※「教人資格講習会」を受講するには、試験合格者に付与される修了番号が必要となります。

教会長・配偶者体験コース

教会につながる信者の方々に「三日講習会」を勧めるための一助として「三日講習会Ⅰ」を体験していただく「教会長・配偶者体験コース」を設けています。教会長と教会長配偶者による特別な班を編制し、受講者のプログラムに沿って参加していただきます。

三日講習会Ⅰに並行して開催いたしますので、日程表を確認の上、ぜひご参加ください。なお、本コースを受講されましても三日講習会Ⅱ、Ⅲの受講資格は得られませんのでご了承ください。詳細要項と願書は17ページを参照してください。

詰所の方へ

1. 開催3日前から当掛で「受講票」を受け取り、当日までに詰所で受講者にお渡しください。内容を確認し、紛失のないようお願いします（当掛の場所については21ページ参照）。
2. 受講者が受付に遅れないように配慮をお願いします。
3. 受講者と相談の上、必要ならば荷物の運搬をお願いします。
 - ・初日は午前8時～8時50分（託児は午前8時～8時15分）までに宿舎へお越しください。
 - ・解散前に荷物を取りに来られる場合は、3日目の午前9時～午後1時までに宿舎へお越しください。
4. 緊急時には受講者の家族、所属教会などへ連絡をお願いします。
※受講者が身上になった場合、詰所の方にお世話取りをしていただくことがあります。
また、受講者（託児童を含む）が感染症を発症された場合、お迎えとその後のお世話取りをお願いします。
5. 毎月のかなめ会、詰所会にてⅠ・Ⅱ・Ⅲの「履修報告」をお渡しします。
※「履修報告」の再発行はいたしません。
6. 修了試験合格者には「修了証」を発行します。当掛から連絡しますので取りにお越しください。「修了証」が確実に本人に届くように手配をお願いします。

所属教会長（受講者を世話取りされる方）へ

1. 受講者および詰所と連絡を密にしてください。
※受講者の身上や、希望月など、提出された願書に不明瞭な点があればお尋ねします。
特別な場合を除いて、当掛から受講者本人に問い合わせることはありません。
2. 受講の条件を満たしていることを確認し、責任を持って出願手続きを行ってください。
3. 受講者に身上などがある場合は「特記事項」欄を確認し、記入漏れがあれば補足してください。
詳しくは10ページ「身上者などについて」を参照してください。

※身体的身上や、精神的身上のおたすけを望まれる方には、修養科もお勧めください。
三日講習会は伏せ込みの場ではなく、あくまで長期休暇を取るのが難しい人たちに、
基本教理を修得していただくための講習会です。過密なスケジュールにより、身上
の症状によっては悪化のおそれもありますのでご注意ください。
4. 受講が決定しましたら、提出者を通してお伝えします。願書が郵送の場合は、当掛から
電話連絡いたします。
5. 所属教会長には、Ⅲ修了後に「修了者のご報告」をお送りいたします。
6. 開催中止となった場合の交通費等、諸費用の補償は致しかねます。

＜同一直属の複数申込について＞

三日講習会ではねりあいなどの内容の充実を図るため、同じ班に同じ直属の方が複数入らないよう班編成を行います。つきましては同開催に同一直属から多数申し込まれる場合、
人数調整や班の編制について、ご相談させていただくことがあります。

＜丹精について＞

1. 三日講習会は各教会の“人を育てる御用”を肩代わりするものではありません。むしろ積極的に人づくりに関わっていただきたいとの思いで開催される講習会です。3日という短期間の講習会を3回受講しただけでは、特におつとめの修得は難しいと思われます。
三日講習会をきっかけとして、受講前後に教会での一層の丹精をお願いします。
2. 三日講習会Ⅲと同時に行われる修了試験の受験資格は「おさづけの理拝戴者」で「三日講習会Ⅲ履修者」です。Ⅲの受講までに、おさづけの理を拝戴するようにお導きください
(11ページ参照)。

願書記入時の注意事項

以下の点に注意して願書を作成してください。

1. 立教182年版の願書をご使用ください。願書は全直属教会および全詰所に配布しています。ホームページからダウンロード、また16ページからの願書をコピーして使用していただくこともできます。A4サイズ（本書の大きさのまま）で、白紙にコピーしてください。
※コピーが不十分なもの、FAXの感熱紙では受理できません。

2. 願書は必ず黒色のボールペン、または万年筆で記入してください。
※黒色以外のボールペン、または鉛筆で書かれたものは受理できません。

3. I、II、IIIと順番に受けていただきますのでI、II、IIIの願書を同時に提出することはできません。また、履修した日（講習会最終日）と同じ月にIとII、またはIIとIIIを受講することはできません。

〈例〉 ○可 … 8月29日～31日I → 9月21日～23日II
×不可 … 10月11日～13日I → 10月17日～19日II
×不可 … 8月30日～9月1日I → 9月13日～15日II

4. 開催日程を確認の上、受講希望月を記入してください。

※希望月が定員に達している場合がありますので、可能であれば第二希望まで記入してください。

5. 願書は、同年12月末まで有効です。そのため、今年と来年の希望月を同一願書で出願することはできません。年末の出願時にご注意ください。

〈例〉 ○可 … 第一希望 令和3年11月 第二希望 令和3年12月（同年内）
×不可 … 第一希望 令和3年12月 第二希望 令和4年1月（年をまたぐ）

6. 「特記事項」欄には、健康状態、身体的障がいや、常用している薬、また車椅子、杖などの生活介助用具の使用について、託児童の健康状態などをなるべく詳しくお書きください。妊娠中の方はその旨をお書きください（10ページ参照）。

7. 「職業」欄は、「主婦（主夫）」や「無職」でも構いませんので現況をお書きください。

8. 「教歴」「同時受講者」欄は、班編成の都合上必要ですので、記入してください。

9. 受講までに氏名や住所などに情報に変更があった場合は、連絡してください。

10. 願書に不備があった時は、原則として所属教会長に連絡します。特別な場合を除いて、当掛から受講者本人に問い合わせることはありません。

11. ①直属教会長、および②所属教会長の署名・捺印（職印）が必要です。

- ・所属教会が無担任の場合は、上級教会長が推薦理由と、署名・捺印をお願いします。
その場合でも所属教会名と「無担任のため」などの理由を余白などに記入してください。
- ・所属、または上級が直属教会に当たる場合は、直属教会長の署名・捺印の上、直属教会長、または受講者を直接世話取りされている方が推薦理由を記入し、所属教会欄には「直轄」と記入してください。

12. 三日講習会は定員制ですので、願書作成時に申込状況（託児申込状況）をホームページまたは電話でご確認ください。

対象年齢表

三日講習会の対象年齢は、ⅠⅡⅢすべて25歳から65歳までです。具体的には、満25歳になる年の1月の開催から、満66歳になる年の12月の開催まで受講できます。

立教184年（2021年）

受講対象 昭和30年（1955年）1月1日生まれ ～ 平成8年（1996年）12月31日生まれ
託児対象 平成27年（2015年）4月2日生まれ ～ 令和3年 生後91日生まれ

立教185年（2022年）

受講対象 昭和31年（1956年）1月1日生まれ ～ 平成9年（1997年）12月31日生まれ
託児対象 平成28年（2016年）4月2日生まれ ～ 令和4年 生後91日生まれ

立教186年（2023年）

受講対象 昭和32年（1957年）1月1日生まれ ～ 平成10年（1998年）12月31日生まれ
託児対象 平成29年（2017年）4月2日生まれ ～ 令和5年 生後91日生まれ

<猶予期間>

「年度区切り」から「年区切り」への制度移行のため、3年間の猶予期間を設けます。
1月～3月生まれの一部の方は、以下の通り受講可能となります。

- ・~~1953年（昭和28年）生まれの方は、令和2年3月の開催まで受講可能~~
- ・1954年（昭和29年）生まれの方は、令和3年12月の開催まで受講可能（※）
- ・1955年（昭和30年） " 令和4年3月 "

※新型コロナウイルスの影響のため猶予期間延長

天理教「三日講習会」受講願

下記の者、三日講習会を受講させていただきたくお願い申し上げます。

願書作成日 立教 年 月 日

ふりがな 氏名	生年月日		昭和・平成 年 月 日(才)(男・女)	
	電話番号		() -	
現住所 必ず記入	〒 -----			
送り先 上記以外の希望があれば併せて記入	〒 -----			
受講希望	いずれかに○してください I・II・III	第一希望 年 月 日 ~ 年 月 日	第二希望 年 月 日 ~ 年 月 日	
出願の動機 (受講者本人が受講に対する思いをお書きください)			職業	
特記事項 (本人または託児童の身体的、精神的な病気や怪我。その他、服薬や妊娠など、合宿に当たり心配な点)				
教歴・立場 (該当する教歴、立場に <input checked="" type="checkbox"/> してください。別席運び中の方は席数をお書きください) <input type="checkbox"/> 別席()席 <input type="checkbox"/> ようぼく (※I申込時のみ おさづけの理拝戴日 年 月 日) <input type="checkbox"/> 教人 <input type="checkbox"/> 修養科修了 <input type="checkbox"/> 教会長配偶者 <input type="checkbox"/> 教会長子女 <input type="checkbox"/> 布教所長				
同時受講者 (夫婦、親子、兄弟、姉妹、親族、知人などの関係と、直属、氏名をお書きください)				
関係	直属	氏名	②	
①			③	
託児 (対象は、受講時に生後91日目から小学校就学前までです)				
ふりがな 氏名				
生年月日	年 月 日(男・女)	年 月 日(男・女)	年 月 日(男・女)	
所属教会長の推薦理由 (出願者に対する思いをお書きください)				

※印刷サイズはA4です。黒色のボールペン、または万年筆で記入してください。

ふりがな
所属教会 天理教

分教会長

職
印

直属教会 天理教

大・分教会長

職
印

受付日		受付番号		受付者		No.	
事前通知 発送日	託児 <input type="checkbox"/>		受講票 <input type="checkbox"/>	履修番号			立教182年版

教会長・配偶者体験コース 要項と願書

対象：教会長、教会長配偶者

定員：若干名。申し込みが少ない場合は、開催を見送ることがあります。

申込：このページをコピーして、下記「受講願」を講習会掛までご提出ください。郵送も可能ですが、FAXやEメールでの申し込みはできません。締切は開催初日の1週間前、午後4時までです。受講決定後「事前通知」や「受講票」をご用意いたします(8ページ参照)。

受講御供：5000円 参加当日、受付時に納めていただきます。

集合：開催初日8時～8時50分 宿舎(8母屋)にて受付をしてください。

解散：開催最終日15時ごろ 神殿でお礼のおつとめをして、神殿で解散します。

ご注意：体験コースはIの開催に合わせて数回設けられます。別紙、開催日程表をご覧ください。なお、本コースを受講されましても、三日講習会II、IIIの受講資格は得られません。遅刻や途中抜けがないように、全日程(2泊3日の合宿)の参加をお願いいたします。

切り取り

天理教「三日講習会」 教会長・配偶者体験コース 受講願

願書作成日 立教 年 月 日

直属教会		ふりがな 所属教会	
ふりがな 氏名		生年月日	昭和・平成 年 月 日(才)(男・女)
		電話番号	() -
現住所 必ず記入	〒 -		
送り先 上記以外の希望があれば併せて記入	〒 -		
受講希望月	年 月 日 ~ 月 日	立場 (<input checked="" type="checkbox"/> してください)	<input type="checkbox"/> 教会長 <input type="checkbox"/> 教会長配偶者
特記事項 (身体的、精神的な病気や怪我。その他、服薬や妊娠など、合宿に当たり心配な点)			

※黒色のボールペン、または万年筆で記入してください。

直属教会 天理教

大・分教会長

受付日		受付番号		受付者		No.	
事前通知 発送日			受講票				立教182年版

Ⅲ修了試験（再試験） 要項と申込書

対 象：Ⅲを履修し、試験不合格、または試験を受けられなかった方で、再試験を希望する者。
※年齢制限はありませんが、合格者の再受験はできません。

申 込：このページをコピーして、下記「申込書」を講習会掛までご提出ください。郵送も可能ですが、FAXやEメールでの申し込みはできません。締切は開催初日4日前、午後4時までです。受講決定後「事前通知」や「受験票」をご用意いたします（8ページ参照）。

受講御供：なし

受 験 票：受講票と同様、詰所にお渡ししますので、当日の集合までに受け取り、講習会掛までお越しください。集合時間は季節によって変動しますので、受験票に記載しています。

解 散：開催最終日16時ごろ 神殿でお礼のおつとめをして、神殿で解散します。

本人確認：資格付与に当たり、受験票を持って講習会掛へお越しいただいた際に本人確認をさせていただきます。運転免許証や保険証など確認できるものをお持ちください。

合 否：試験の可否、修了証、得られる資格については11ページを参照してください。

切り取り

天理教「三日講習会」 Ⅲ修了試験（再試験） 申込書

申込書作成日 立教 年 月 日

直属教会		ふりがな 所属教会	
ふりがな 氏 名		生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日(才)(男・女)
		電 話 番 号	() -
現住所 必ず記入	〒 -		
送り先 上記以外の希望があれば併せて記入	〒 -		
受験希望日 (Ⅲ最終日のみ)		年 月 日	

※黒色のボールペン、または万年筆で記入してください。

受付日		受付番号		受付者		No.	
事前通知 発送日			受験票				立教182年版

三日講習会 I のプログラム例

季節により変動します

1日目

時間	項目
8:00	宿舎8母屋で 受付
9:00	開講式
9:40	ウォーミングアップ 自己紹介
10:40	移動
11:10	おつとめ 神殿案内
12:00	昼食
13:00	第一講 「かしの・かりもの」
14:45	ふりかえり
16:00	班ごとに参拝 夕食
17:20	おてふり練習
18:30	グループタイム
19:45	おふでさき拝読など
22:00	入浴・休憩
22:00	消灯

2日目

時間	項目
4:45	起床
5:15	移動
5:30	朝づとめ
6:00	朝食
7:45	おてふり練習
8:45	移動
9:00	朝のあいさつ
9:20	第二講 「親神様」
11:05	ふりかえり
12:20	昼食
13:20	第三講 「教祖」
15:05	鳴物練習
16:20	回廊ひのきしん 班ごとに参拝 夕食
18:15	グループタイム
19:45	おふでさき拝読など
22:00	入浴・休憩
22:00	消灯

3日目

時間	項目
4:30	起床
5:00	移動
5:15	教祖お出ましお迎え
5:30	朝づとめ
6:00	朝食 荷物移動・掃除
7:20	おてふり練習
8:30	移動
8:45	朝のあいさつ
9:05	第四講 「おつとめは素晴らしい」
10:05	ふりかえり
11:15	グループタイム
12:05	感想文記入
12:20	昼食
13:30	おつとめまなび 閉講式
14:20	移動
14:40	おつとめ

○Ⅱ・Ⅲも基本的なプログラムは同じです。Ⅱは逸話劇、Ⅲは路傍講演があります。

○解散はⅠ・Ⅱは15時頃。Ⅲは修了試験があるため15時半～16時頃です。

いずれもおつとめをして神殿で解散となります。

よくある質問

- Q1. ずいぶん前に修養科を修了したのですが、またおちばで教理を学びたいと思っています。受講できますか？
- A. はい。受講条件を満たす方であれば、修養科を修了した方も受講できます。
- Q2. 現在別席を運んでいます。座りづとめに自信がないのですが、受講できますか？
- A. はい、受講できます。しかし、三日間でおつとめを習得することは難しいですので三日講習会をきっかけに、所属の会長様に教えていただく時間を作っていただければ幸いです。
- Q3. 身体的、精神的に不安があるのですが、受講できますか？
- A. 短期間の講習会のため、忙しいスケジュールになっています。また、初対面の人と共同生活を送るため、状態によってはご相談が必要な場合があります。
- Q4. 受講を希望する三日講習会の締切が迫っています。予約したいのですが…。
- A. 予約制度はありません。願書を提出し、受付が完了した方から受講が決定します。所属教会および直属教会を通して出願していただきますので、余裕をもって申し込んでください。
- Q5. 来月の講習会ですが、今から願書を出せば間に合いますか？
- A. 申込状況は毎日変動しています。当掛が電話やホームページでお知らせしているのはその時点での状況です。お問い合わせの直後に定員に達することもありますのでご注意ください。
- Q6. 予定が空いたので、明日からの三日講習会を受講できますか？
- A. いいえ。受付の締切は、希望する講習会の開催初日4日前までです。また、締切前でも定員に達している場合もあります。出願の際はホームページやお電話で、申込状況をご確認ください。
- Q7. 講習会中、外出することはできますか？
- A. 外出、外泊はできません。履修するためには、全てのプログラムに出席しなければならず、欠課があると履修資格を得られない場合があります。また、原則として面会もお断りしています。
- Q8. 講習会中の飲酒、喫煙はできますか？
- A. 飲酒は厳禁です。万一、飲酒が発覚した場合は、受講を辞退していただくことがあります。喫煙は期間中の必要分をお持ちの上、所定の喫煙所をご利用ください。
- Q9. 荷物を開催場所へ送りたいのですが…。
- A. 送られる場合は、直属、所属教会とご相談の上、詰所などへ送るようお願いします。

ご不明な点があれば、講習会掛までお問い合わせください。

天理教教会本部
教養室講習会掛

〒 632-8501
奈良県天理市三島町 1 番地 1

TEL 0743-63-2162 (直通)
本部内線 3581
FAX 0743-63-2865

三日講習会ホームページ
<https://www.tenrikyo.or.jp/mikka/>

個人情報の取り扱いについて

講習会掛では、お預かりした個人情報の保護に努め、
適切な取り扱いに細心の注意を払っています。
なにかご不明な点があれば、講習会掛までお問い合わせください。